

教科	農業	科目	栽培と環境	単位数	1 単位	学年	3 年	コース	E園芸・ビジネス
使用教科書		栽培と環境(実教出版)		使用副教材等	ワークシート、プリント、視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、栽培と環境に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	栽培と環境について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト ・実習技能の習得 ・実習記録簿	・定期考査 ・ワークシート ・実習状況の観察 ・実習記録簿	・ワークシート ・実習・授業の様子 ・実習記録簿

担当者からのメッセージ	・学習の内容を実際の生活と関連付けて考え、授業や実習に取り組んでください。 ・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 - また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 ・実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	○オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。 第1章 栽培と環境 1 自然環境のなりたち 2 栽培環境のなりたち 3 栽培環境と栽培技術	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度 ・栽培と環境に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている(知) ・栽培の環境が農業にどのような関わりが必要かを考えることができる。(思) ・栽培環境について幅広い視点を持って学ぼうとする態度が見られる。(態)
	5	第2章 栽培植物の発育・生理と栽培技術 1 作物の種類と特徴 2 作物の一生	・作物の種類について理解できているか。(知) ・作物に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる(思) ・作物に関して興味・関心を持ち、現状と課題について主体的かつ協働的に取り組むことができる。(態)
	6 7	第6章 施設型農業の栽培環境 1 園芸施設の種類 2 ハウス・温室内の気象・土壌的要素の管理 3 園芸施設内の生物制御 4 複合的な環境管理と経営	・園芸施設(ハウス)の仕組みについて理解できているか。(知) ・複合環境管理(環境制御)について理解できているか。(知) ・園芸施設の現状と変化について理解し、様々な観点から課題を明らかにしようと思いを深める(思) ・環境の学習を通して、積極的にあらゆる管理法を活用する姿勢を持っている(態)
2	9 12	第7章 環境に配慮した栽培の実践 1 農業の環境への影響 2 農業の物質循環機能 3 環境に配慮した作物栽培 4 環境に配慮した栽培の実践例	・各農産物の特徴と加工特性について理解できているか。(知) ・各農産物について、主な加工製品の種類・製造方法について理解できているか。(知) ・環境に配慮した栽培を科学的な根拠に基づいて考察し、今後の作物栽培に向けて創造的に解決しようとしている。(思)
3	1	第8章 栽培と環境の診断・実験の方法 1 栽培と環境の診断・実験の実施にあたって 2 栽培植物の発育と整理に関する診断・実験 3 気象的要素に関する診断・実験 4 土壌的要素に関する診断・実験 5 生物的要素に関する診断・実験 6 総合的なプロジェクトの実践例	・生育状況を調査・観察することで適切な管理について理解できているか。(知) ・調査データを分析し管理方法を探求し思考を深めようとしている。(思) ・気象、土壌、生物的要素に関する診断・実験の活用に関して、現状と課題について主体的かつ協働的に探求しようとしている(態)